

【複数台で医見書を使用する場合の設定方法：サーバ PC が Windows10 の場合】

医見書は、データベースが配置されている他のコンピュータに接続することができます。これにより、複数のパソコンから一つのデータへと接続し、編集することが可能になります。

※院内のセットワークなどを利用する場合を想定して設定方法を記載しています。

【接続先であるサーバ PC の設定 (Windows10 の場合)】

1.

Firebird のポートの設定をおこないます。

Windows [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] を選択します。【コントロールパネル】画面を表示させ、[Windows Defender ファイアウォール]をクリックします。

※

【コントロールパネル】の表示方法は、「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択してください。



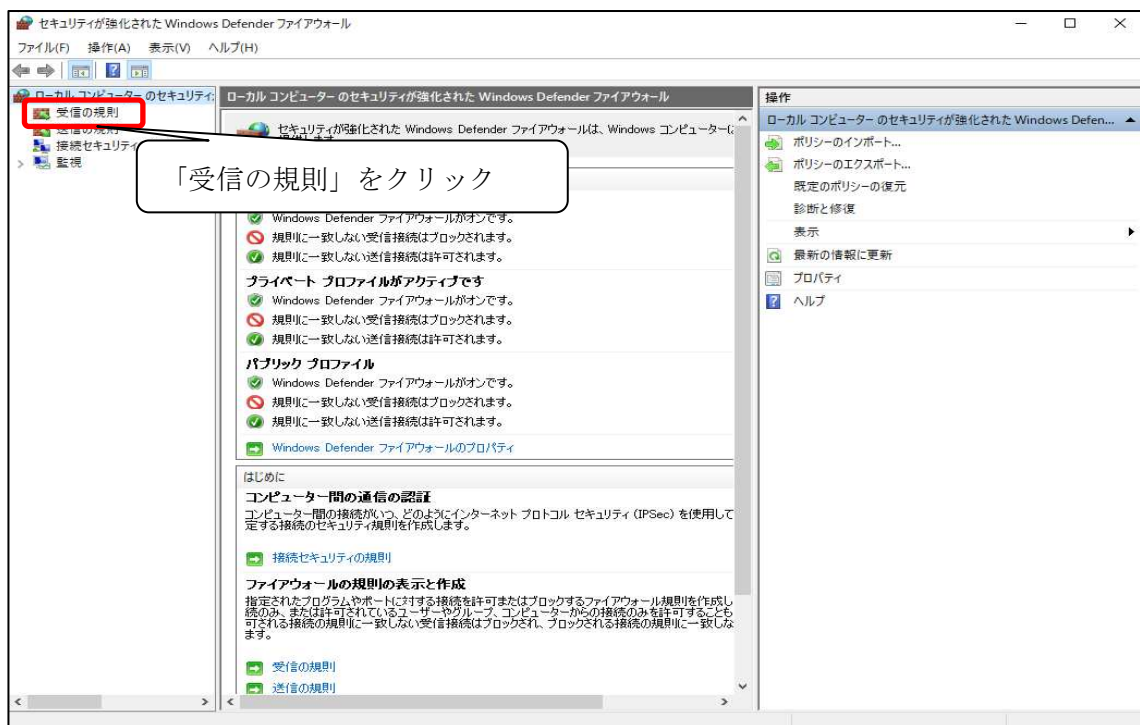
2.

【Windows Defender ファイアウォール】画面が表示されたら、[詳細設定]をクリックします。



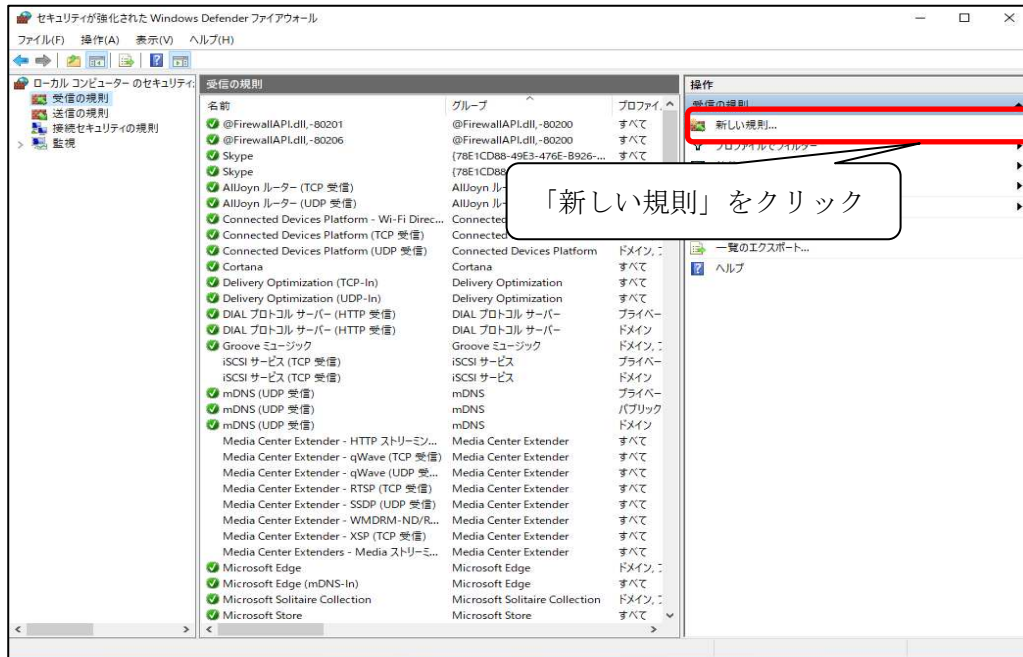
3.

【セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール】画面が表示されますので、[受信の規則]をクリックします。



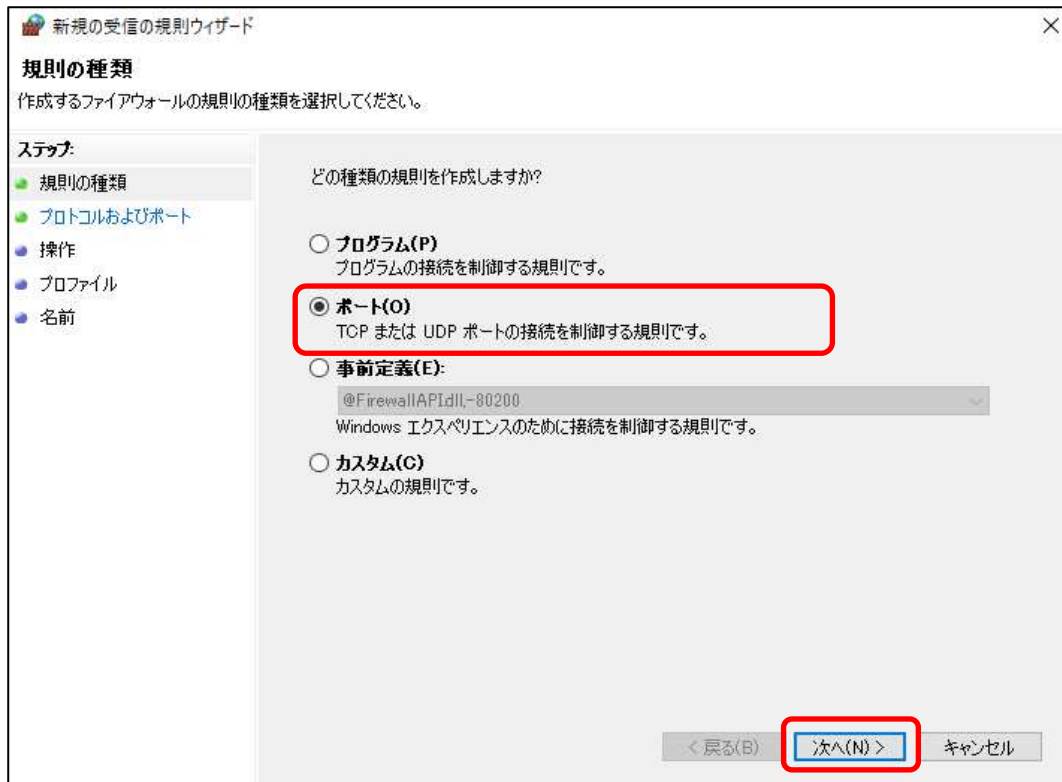
4.

「受信の規則」が表示されます。「新しい規則」をクリックします。



5.

【新規の受信の規則ウィザード】画面が表示されます。「規則の種類」で「ポート」を選択し、「次へ」をクリックします。



6.

「プロトコルおよびポート」が表示されますので、「TCP」を選択し、「特定のローカルポート」を選択、右横の空欄に Firebird のポート番号である「3050」と入力し、[次へ]をクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート

この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

TCP(T)

UDP(U)

すべてのローカルポートと特定のローカルポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

すべてのローカルポート(A)

特定のローカルポート(S):

例: 80, 443, 5000-5010

「特定のローカルポート」を選択し、「3050」と入力

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

7.

「操作」が表示されます。「接続を許可する」を選択し、「次へ」をクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

操作

規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

接続を許可する(A)
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

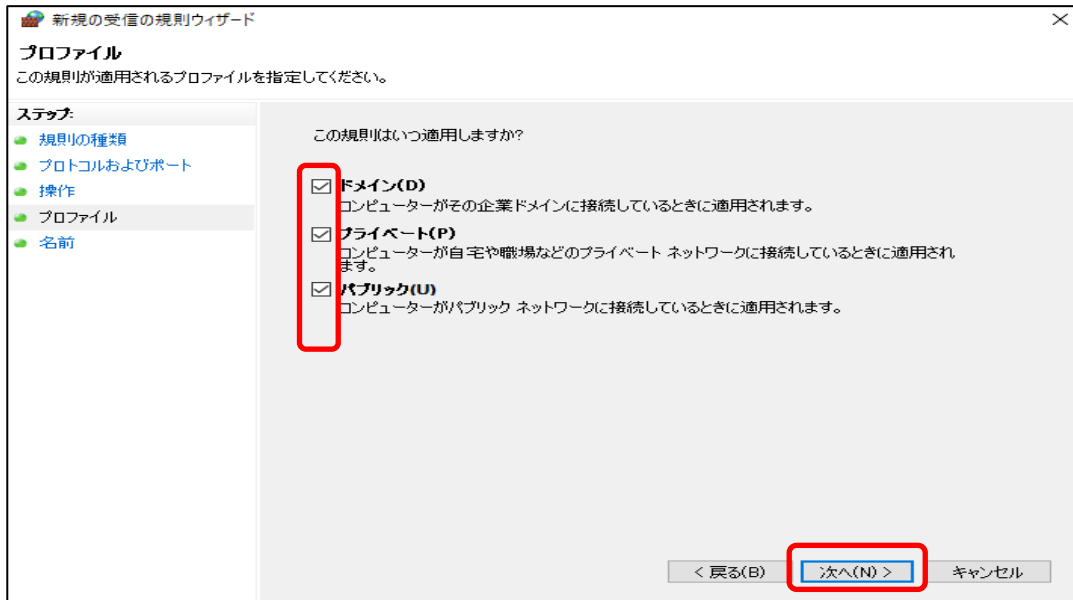
カスタマイズ(Z)...

接続をブロックする(K)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

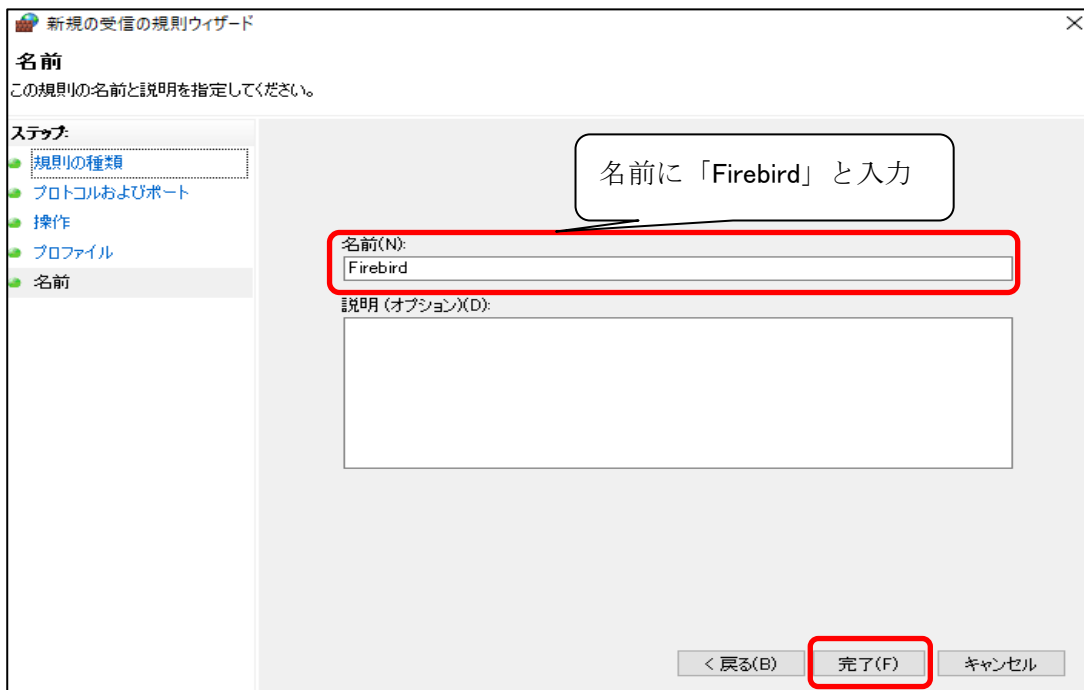
8.

「プロファイル」が表示されます。すべてにチェックがついているのを確認し、「次へ」をクリックします。



9.

「名前」が表示されます。「名前」に「Firebird」と入力し、「完了」をクリックし開いている画面をすべて閉じてください。



以上で、接続先 PC (Windows10 の場合) の設定である「Firebird のポートの設定」は終了となります。

併せて、クライアント PC にインストールされている医見書にて設定する必要がある、IP アドレスを確認します。

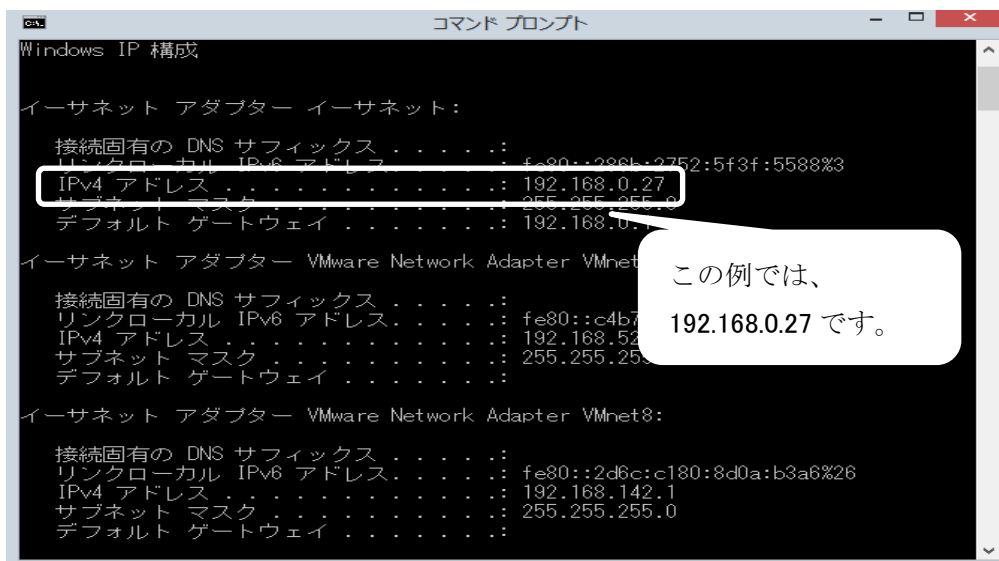
【IP アドレスの確認方法】

1.

Windows [スタート] → [Windows システムツール] → [コマンドプロンプト] を選択します。

2.

「ipconfig」と入力後[Enter]を押下することで、IP アドレスを確認することができます。



【接続元であるクライアント PC の設定】

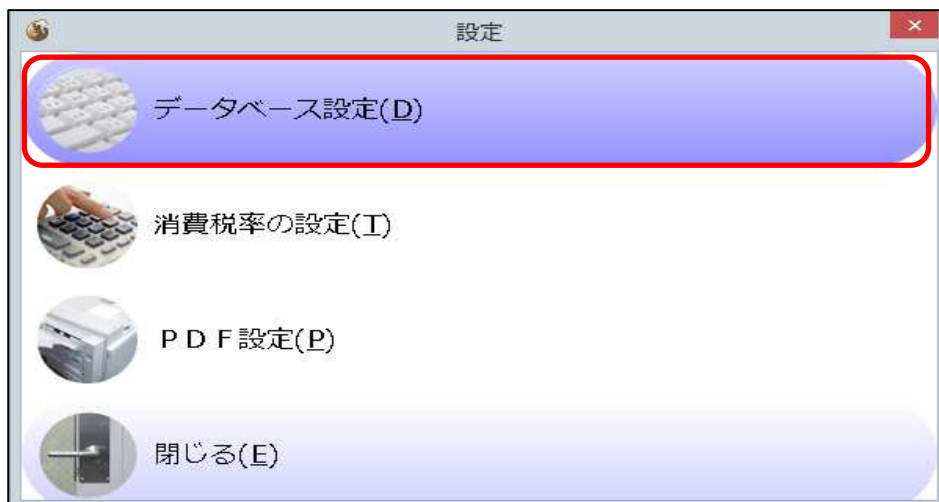
1.

医見書【メインメニュー】より[設定 (S)]をクリックします。



2.

[データベース設定 (D)] をクリックします。



3.

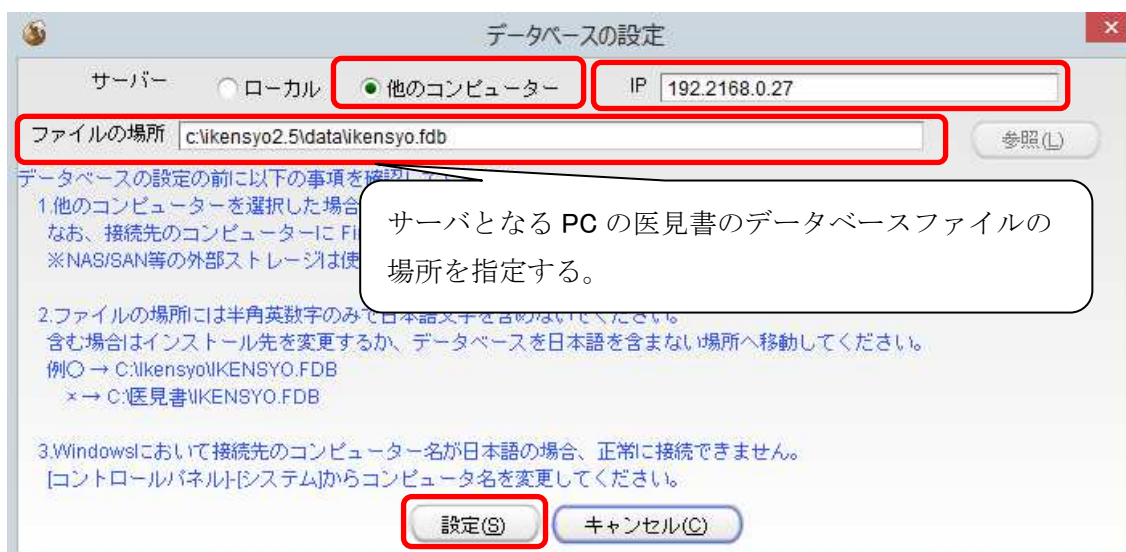
【データベースの設定画面】が表示されます。

サーバは「他のコンピュータ」にチェックを入れ、IP はサーバとなるパソコンの IP アドレスを入力します。

また[ファイルの場所]には、サーバとなる PC の医見書のデータベースファイルの場所を指定します。

※

サーバとなる PC 上で医見書を起動させ、[設定]→[データベース設定]にてデータベースファイルの場所を確認できます。



4.

[設定(S)] をクリックすることで、共有設定は完了となります。